



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 フジテック株式会社
 コード番号 6406 URL <https://www.fujitec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 高一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員財務本部長 (氏名) 加藤 義一 (TEL) (072) 622-8151
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	76,418	△11.0	5,041	△18.9	5,611	△19.0	3,438	△25.0
2020年3月期第2四半期	85,859	10.8	6,218	50.1	6,926	39.6	4,587	16.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,780百万円(△12.1%) 2020年3月期第2四半期 3,164百万円(116.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	42.41	42.39
2020年3月期第2四半期	56.71	56.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	193,553	119,041	55.3
2020年3月期	193,581	118,714	55.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 107,112百万円 2020年3月期 106,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	165,000	△9.0	10,700	△20.0	11,500	△21.7	7,500	△24.4	92.50	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期2Q	90,067,000株	2020年3月期	90,067,000株
2021年3月期2Q	8,979,189株	2020年3月期	8,985,121株
2021年3月期2Q	81,083,687株	2020年3月期2Q	80,900,192株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	12
(1) 受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)	前年同四半期比 (%)
売上高	85,859	76,418	△11.0
国内	34,309	31,168	△9.2
海外	51,549	45,250	△12.2
営業利益	6,218	5,041	△18.9
経常利益	6,926	5,611	△19.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,587	3,438	△25.0
1株当たり四半期純利益	56.71円	42.41円	—

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により総じて低調に推移し、感染再拡大の懸念などから先行き不透明感が払拭できない状況が続きました。一方で、社会経済活動レベルを徐々に引き上げるなど、各国で経済正常化に向けた動きもみられました。感染が抑制されている中国では、4月以降の成長率がプラスに転じるなど持ち直しの動きが続きました。米国・欧州やインドなどのアジア地域では、4月～6月の成長率がマイナスとなる厳しい状況が続きましたが、下げ止まりの兆しもみられました。日本では、緊急事態宣言解除後から経済活動が徐々に再開されましたが、感染症対策が継続される中で、景気回復のペースは緩慢なものとなりました。

昇降機業界におきましては、中国では、3月以降は需要の回復が見られ、新設工事が台数ベースでは前年同四半期並みで推移しました。その他の国では、新規建築計画の停滞などから、新設工事やモダンゼーション工事の需要が、総じて減少しました。昇降機の整備・維持を行う保守事業では、社会インフラとして影響は限定的となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、従業員や関係先の安全・安心を最優先に、在宅勤務や3密の回避などの施策を継続し、感染症拡大の防止に努めました。また、4月に販売開始した日本向け新標準型エレベータ「エクシオール」は、業界初「専用クーラー標準装備」、同クラス業界最速「最大定格速度分速120メートル」、業界最大の「8.4インチ大型液晶モニター」等の新機能が充実。8月には初出荷するなど拡販に取り組んでいます。特に「新しい生活様式」へ対応した、手をかざすだけでエレベータを操作できる「非接触ボタン」、3密を避ける判断の一助となる「混雑度表示」、イオン発生装置「イオンフル」や「抗菌ボタン」など当社独自の衛生面の機能は、感染症対策に期待されています。「非接触ボタン」は、お客様からご好評をいただき、既設エレベータへの適用拡大などを図り、国内外での販売を開始しています。

以上の環境の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績の状況は、以下の通りとなりました。

当第2四半期連結累計期間の国内市場は、新設事業では、ホテルや店舗向けを中心に民間向けの需要は停滞しましたが、官庁向けが伸長し、新設工事の受注は増加しました。アフターマーケット事業では、既設昇降機の更新を行うモダンゼーション工事の受注は前年同四半期並みで推移し、昇降機の整備・維持を行う保守では、お客様への柔軟な提案により契約率の向上に努めた結果、堅調に推移しました。

海外では、新設市場で新型コロナ禍の影響が続きました。東アジアの受注は、中国をはじめとして新設工事が低調となりました。南アジアでは、インドで新設工事の受注が減少しましたが、シンガポール、インドネシア、マレーシアでは大型の新設工事案件の獲得により増加しました。北米・欧州では、米国での前年同四半期の大型受注の反動減もあり、モダンゼーション工事が減少しました。一方、英国では、2月に完了した企業買収により増加しました。

以上の結果、国内受注高374億18百万円（前年同四半期比2.5%増）、海外受注高492億94百万円（同10.7%減、為替の影響を除くと7.2%減）となり、受注高合計は867億13百万円（同5.4%減）となりました。

売上高は、国内売上高311億68百万円（前年同四半期比9.2%減）、海外売上高452億50百万円（同12.2%減、為替の影響を除くと8.8%減）となり、合計で764億18百万円（同11.0%減）となりました。

受注残高は、国内受注残高719億93百万円（前連結会計年度末比9.5%増）、海外受注残高1,445億47百万円（同1.7%増、為替の影響を除くと3.9%増）となり、合計で2,165億41百万円（同4.2%増）となりました。

損益面では、営業利益は、新設工事の採算低下により、50億41百万円（前年同四半期比18.9%減）、経常利益は、56億11百万円（同19.0%減）となりました。特別損益で投資有価証券売却益が減少し、税金等調整前四半期純利益は55億28百万円（同20.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億38百万円（同25.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

（金額単位：百万円未満切捨て）

	売上高			営業利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半 期比 (%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半 期比増減額
日 本	35,659	32,550	△8.7	2,019	1,593	△425
東アジア	34,840	29,994	△13.9	2,546	2,256	△290
南アジア	8,089	6,880	△14.9	1,178	1,124	△53
北米・欧州	12,579	11,347	△9.8	490	68	△422
小 計	91,168	80,772	△11.4	6,235	5,042	△1,192
調 整 額	△5,309	△4,353	—	△17	△1	15
合 計	85,859	76,418	△11.0	6,218	5,041	△1,177

（日 本）

売上高は、新型コロナ禍の影響による工期延伸や工事中断により、新設およびモダンゼーション工事の売上が減少し、325億50百万円（前年同四半期比8.7%減）となりました。営業利益は、モダンゼーション工事の売上減少によりアフターマーケット事業の利益が減少し、15億93百万円（同4億25百万円減）となりました。

（東アジア）

売上高は、中国をはじめとする新設工事や輸出の減少により、299億94百万円（前年同四半期比13.9%減、為替の影響を除くと10.0%減）となりました。営業利益は、台湾の新設工事で採算が低下し、22億56百万円の営業利益（同2億90百万円減）となりました。

（南アジア）

売上高は、インドネシア、マレーシア、インドで新設工事が減少したため、68億80百万円（前年同四半期比14.9%減、為替の影響を除くと11.2%減）となりました。営業利益は、シンガポールおよびインドではサービス事業が堅調に推移した一方で、新設工事の採算が低下したことで、11億24百万円（同53百万円減）となりました。

（北米・欧州）

売上高は、カナダや英国での新設工事の進捗および英国での新規子会社の連結加入により増加しましたが、米国では新型コロナ禍の影響により新設工事が大きく減少し、113億47百万円（前年同四半期比9.8%減、為替の影響を除くと7.8%減）となりました。営業利益は、主に新設工事の売上減少により、68百万円（同4億22百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、1,935億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少しました。これは主に、現金及び預金および英国での企業買収に伴うのれんの増加に対し、受取手形及び売掛金が減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億55百万円減少し、745億11百万円となりました。これは主に、前受金の増加に対し、支払手形及び買掛金、電子記録債務、短期借入金が減少したことによります。

純資産額は、1,190億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億26百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定の減少18億3百万円に対し、その他有価証券評価差額金の増加8億69百万円、利益剰余金の増加10億4百万円によります。また、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は55.3%（前連結会計年度末比0.1ポイント増）となり、1株当たり純資産額は1,320.94円（同2.35円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、278億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億51百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益55億28百万円、売上債権の減少63億42百万円などで、122億92百万円の収入（前年同四半期比65億5百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

利息及び配当金の受取額7億16百万円に対し、定期預金の純増額50億78百万円、有形固定資産の取得16億80百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式取得14億77百万円などにより、76億93百万円の支出（前年同四半期比51億42百万円の支出増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純減額14億54百万円、配当金の支払などにより、40億80百万円の支出（前年同四半期比12億61百万円の支出増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想につきましては、2020年5月13日に公表した予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,024	60,290
受取手形及び売掛金	61,626	54,552
商品及び製品	5,571	5,640
仕掛品	5,457	6,576
原材料及び貯蔵品	8,291	8,233
その他	5,053	5,816
貸倒引当金	△2,142	△2,514
流動資産合計	140,884	138,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,758	19,678
機械装置及び運搬具（純額）	3,403	3,659
工具、器具及び備品（純額）	2,232	2,254
土地	6,909	6,897
リース資産（純額）	694	568
建設仮勘定	1,190	837
有形固定資産合計	34,188	33,894
無形固定資産		
のれん	115	1,395
その他	3,524	3,398
無形固定資産合計	3,640	4,793
投資その他の資産		
投資有価証券	7,172	8,364
長期貸付金	1	0
その他	7,807	8,022
貸倒引当金	△112	△117
投資その他の資産合計	14,868	16,270
固定資産合計	52,697	54,959
資産合計	193,581	193,553

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,938	14,475
電子記録債務	5,373	3,841
短期借入金	3,990	2,457
1年内返済予定の長期借入金	217	211
未払法人税等	2,178	2,529
賞与引当金	3,124	2,532
工事損失引当金	5,206	6,424
その他の引当金	1,253	1,395
前受金	23,417	26,791
その他	10,383	8,921
流動負債合計	70,083	69,580
固定負債		
退職給付に係る負債	4,076	4,278
その他	706	653
固定負債合計	4,783	4,931
負債合計	74,866	74,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,571	14,572
利益剰余金	102,355	103,359
自己株式	△10,401	△10,394
株主資本合計	119,059	120,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,194	2,064
繰延ヘッジ損益	△16	2
為替換算調整勘定	△11,935	△13,739
退職給付に係る調整累計額	△1,387	△1,286
その他の包括利益累計額合計	△12,145	△12,958
新株予約権	40	35
非支配株主持分	11,760	11,893
純資産合計	118,714	119,041
負債純資産合計	193,581	193,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	85,859	76,418
売上原価	66,726	59,002
売上総利益	19,132	17,416
販売費及び一般管理費	12,913	12,375
営業利益	6,218	5,041
営業外収益		
受取利息	671	595
受取配当金	105	114
その他	156	190
営業外収益合計	933	899
営業外費用		
支払利息	78	94
為替差損	119	145
その他	28	89
営業外費用合計	225	329
経常利益	6,926	5,611
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	126	-
特別利益合計	128	1
特別損失		
固定資産除売却損	64	9
減損損失	-	13
投資有価証券評価損	-	52
関係会社出資金評価損	-	8
特別損失合計	64	84
税金等調整前四半期純利益	6,989	5,528
法人税、住民税及び事業税	1,590	2,255
法人税等調整額	113	△658
法人税等合計	1,704	1,597
四半期純利益	5,285	3,931
非支配株主に帰属する四半期純利益	697	492
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,587	3,438

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	5,285	3,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△181	869
繰延ヘッジ損益	△13	22
為替換算調整勘定	△1,980	△2,144
退職給付に係る調整額	54	101
その他の包括利益合計	△2,120	△1,150
四半期包括利益	3,164	2,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,801	2,625
非支配株主に係る四半期包括利益	363	155

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,989	5,528
減価償却費	1,518	1,578
貸倒引当金の増減額(△は減少)	299	433
受取利息及び受取配当金	△777	△709
賞与引当金の増減額(△は減少)	97	△602
工事損失引当金の増減額(△は減少)	267	1,272
売上債権の増減額(△は増加)	△2,639	6,342
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,285	△1,441
仕入債務の増減額(△は減少)	580	△1,860
投資有価証券売却損益(△は益)	△126	-
前受金の増減額(△は減少)	3,534	3,840
有形固定資産除売却損益(△は益)	62	7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	270	420
その他	△1,248	△596
小計	7,544	14,215
法人税等の支払額	△1,757	△1,923
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,786	12,292
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,345	△12,094
定期預金の払戻による収入	6,198	7,015
有形固定資産の取得による支出	△1,109	△1,680
有形固定資産の売却による収入	6	5
投資有価証券の取得による支出	△400	△1
投資有価証券の売却による収入	318	-
利息及び配当金の受取額	598	716
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,477
その他	△818	△177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,551	△7,693
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△443	△1,454
長期借入金の返済による支出	△34	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
利息の支払額	△42	△56
配当金の支払額	△2,025	△2,431
非支配株主への配当金の支払額	△248	△16
その他	△22	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,818	△4,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	△752	△869
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△336	△351
現金及び現金同等物の期首残高	25,902	28,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,566	27,829

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東アジア	南アジア	北米・欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,344	30,870	8,089	12,554	85,859	—	85,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,314	3,969	—	24	5,309	△5,309	—
計	35,659	34,840	8,089	12,579	91,168	△5,309	85,859
セグメント利益	2,019	2,546	1,178	490	6,235	△17	6,218

(注) 1 セグメント利益の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去△0百万円およびたな卸資産の調整額△16百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東アジア	南アジア	北米・欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,186	27,015	6,880	11,336	76,418	—	76,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,363	2,978	0	11	4,353	△4,353	—
計	32,550	29,994	6,880	11,347	80,772	△4,353	76,418
セグメント利益	1,593	2,256	1,124	68	5,042	△1	5,041

(注) 1 セグメント利益の調整額△1百万円は、たな卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であるFUJITEC UK LIMITEDを通じて、Amalgamated Lifts Limitedの発行済み全株式を取得したことにより、連結の範囲に含めています。当該事象により、「北米・欧州」において、のれんが1,328百万円増加しています。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

①受注状況

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の受注高および受注残高は次のとおりです。

	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前期末比 (%)
国内	37,418	2.5	71,993	9.5
海外	49,294	△10.7	144,547	1.7
合計	86,713	△5.4	216,541	4.2

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

(当第2四半期連結累計期間における主な受注物件)

所在地	納入先	概要
中国・広東省	深圳大学西麗校区二期	深圳市の大学校舎向けエレベータ71台
中国・江蘇省	九洲南廣場花園	常州市の商業施設、オフィス、住宅施設から成る複合施設向けエレベータ83台
香港	スリー・ガーデン・ロード	セントラル地区の高層オフィスビルの既設エレベータ44台の更新工事
韓国・京畿道	KT本社ビル	城南市の韓国最大の通信企業の本社ビルの既設エレベータ18台の更新工事
マレーシア・クアラルンプール	パーク・リージェント	二層から成る地上54階建ての高層住宅施設向けエレベータ17台
インド・マハーラーシュトラ州	ナンダン・プロビズ	ブネー市の商業施設・オフィスから成る複合施設向けエレベータ・エスカレータ 計16台
米国・コロンビア特別区	マーケット・スクエア	ワシントンD.C. 中心部の複合施設の既設エレベータ14台の更新工事
アルゼンチン・ブエノスアイレス	カルティエ・プラザ	ブエノスアイレス市のオフィス・住宅から成る複合施設向けエレベータ18台

②販売実績（売上高）

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の販売実績（売上高）は次のとおりです。

	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
国内	31,168	△9.2
海外	45,250	△12.2
合計	76,418	△11.0

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

(当第2四半期連結累計期間における主な完成物件)

所在地	納入先	概要
中国・広東省	深圳地下鉄10号線	深圳市の地下鉄駅舎向けにエレベータ・エスカレータ 計207台を納入
中国・遼寧省	大連華潤二十四城	大連市の住宅施設向けにエレベータ93台を納入
台湾・台北市	ホテルインディゴ 台北ノース	大直地区のホテル向けにエレベータ・エスカレータ 計12台を納入
韓国・仁川広域市	松島キャッスル セントラル パーク	松島新都市の商業施設・住宅施設から成る複合施設向けにエレベータ・エスカレータ 計23台を納入
インド・マハーラーシュトラ州	ラストムジー・アーバーニア・アツィアーノ	ムンバイ近郊のターネー市の大規模住宅施設向けにエレベータ19台を納入
東京都	MIYASHITA PARK	渋谷区立宮下公園・商業施設・ホテルが一体となった複合施設向けにエレベータ・エスカレータ 計40台を納入
横浜市	横浜バイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜	みなとみらいエリアの会員制リゾートホテル・ラグジュアリーホテル向けにエレベータ12台を納入
栃木県・日光市	ザ・リッツ・カールトン日光	中禅寺湖畔のラグジュアリーホテル向けにエレベータ9台を納入